

4年間の流れ 2025年度(予定) 変更になる場合があります

卒業に必要な単位:124単位
 専門教育科目:84単位
 全学共通科目:28単位
 広域選択:12単位

必修:40単位
 選択必修:32単位
 選択:12単位

	1年次	2年次	3年次	4年次						
成長のプロセス	1・2年次は仏教学科と禅学科の区別はなく、仏教の歴史・思想・文化に関する教養や、文献読解に必要となる語学(中国古典語・サンスクリット語・その他)など、仏教を研究する上での基礎を学ぶ。		3年次からは、学生個々の知的関心に従って専門分野を選択し、必修科目の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」を中心として研究に取り組む。禅に関連する分野に興味を抱いた場合には、禅学科の専門科目を履修することも可能。							
必修	<ul style="list-style-type: none"> 仏教学入門 仏教漢文入門 	<ul style="list-style-type: none"> 宗典 坐禅Ⅰ 宗教学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教思想概説 演習Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 演習Ⅱ 卒業論文 						
選択必修	<ul style="list-style-type: none"> インド仏教史① 中国仏教史 日本仏教史 中国禅宗史 	<ul style="list-style-type: none"> 日本禅宗史 パーリ語初級 サンスクリット語初級 チベット語初級 	<ul style="list-style-type: none"> 宗教史 仏教美術史 インド哲学史 	<ul style="list-style-type: none"> 中国哲学史 漢文講読Ⅰ 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教研究A~C 仏典講読Ⅰ~Ⅲ 宗教学研究 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教美術研究② 漢文講読Ⅱ 英文仏書講読 				
選択	<ul style="list-style-type: none"> 仏教学セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア仏教史 チベット仏教史 韓国仏教史 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教文化史 禅文化史 	<ul style="list-style-type: none"> 日用経典 	<ul style="list-style-type: none"> インド仏教思想史 中国仏教思想史 日本仏教思想史 禅美術 禅心理学 仏教と社会 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教文献学 仏教民俗学 原始仏教 真言学概論 浄土学概論 真宗学概論 	<ul style="list-style-type: none"> 日蓮教学概論 神道概説 新宗教概説 キリスト教概論③ イスラム教概論 哲学概説 	<ul style="list-style-type: none"> 宗教哲学 心理学概論Ⅰ・Ⅱ パーリ語上級 サンスクリット語上級 チベット語上級 書道 	<ul style="list-style-type: none"> 漢詩作法 青少年問題研究 宗教教育 宗教法概説 仏教特講ⅠA 仏教特講ⅠB 	<ul style="list-style-type: none"> 仏教特講ⅢA 仏教特講ⅣB 禅学特講ⅠA 禅学特講ⅡB 禅学特講ⅢA 禅学特講ⅣB
			<ul style="list-style-type: none"> 坐禅Ⅱ 	<ul style="list-style-type: none"> 禅学研究A~C 	<ul style="list-style-type: none"> 禅籍講読Ⅰ~Ⅲ 	<ul style="list-style-type: none"> 法式実習 				

① インド仏教史

仏教誕生の地、インド。そこで仏教がどのように発達し、現代に伝わってきたかを学びます。またその学びを通じて、仏教の考え方を将来どう活かしていくか考える姿勢も修得します。

② 仏教美術研究

アジア諸国の仏像や仏画を鑑賞しながら、同じモチーフが時代や地域によって変化する過程を考察。さらに歴史的な背景と照らし合わせることで、仏教美術の基本的な理解を目指します。

③ キリスト教概論

仏教、イスラム教と共に世界三大宗教の一つであるキリスト教について、旧・新約聖書を軸に学びます。仏教学科で学ぶことで、宗教について視野が広がりが理解度が深まります。

卒業論文テーマ・研究課題例

- 釈尊の無我思想について
- 『法華経』における女人成仏観
- 世親のアーラヤ識説
- 日本の民話・伝承にみる狐信仰
- 近世から現代における幽霊の変容
- 国柱会信徒としての宮沢賢治
- 梁武帝の仏教信仰
- 義浄の訳経活動
- 『日本霊異記』における女性と仏教
- 徳一と最澄の三一権実論争
- 「アメリカ仏教」の展開と社会との関わり
- 観音信仰と巡礼に関する一考察

私の

1 Week Schedule [2年次]

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Sat.
前期	1	基礎演習	仏教と社会	坐禅Ⅰ		
	2	仏教民俗学	高齢者福祉	宗典		
	3	東南アジア仏教史		中国語ⅡAa	宗教学概論	
	4	中国語ⅡBa				
	5					
	6					
後期	1	基礎演習	仏教と社会	坐禅Ⅰ		
	2	仏教民俗学		宗典		
	3	東南アジア仏教史		中国語ⅡAb	宗教学概論	
	4	中国語ⅡBb				
	5					
	6					

履修のポイント

「坐禅」の授業は、色々なことを考えてしまう生活の中で、唯一心を静めて自分と向き合い整えることができる貴重な時間です。この坐禅の授業で得た自分に向き合う力は、今後の生活にも活かしていけると思います。

学びから得たこと

何事も、先入観に捉われ目に見えるものだけを信じるのではなく、物事の本質を見ようとする姿勢を身につけることができたと思います。また、仏教の慈悲深い教えを通して自分自身を見つめ直すこともできました。

Message

「自利利他」を心に、人の支えになりたい。

幼い頃から家族と寺社仏閣を訪れる機会が多く、次第に仏教の歴史や仏像に興味を持ち始めました。仏教を深く学んで、学びを通して自分の心と向き合えるのは駒澤大学仏教学部しかないと思い、進学を決めました。また、ゴミ拾いに参加したり、障がい者施設や介護施設を訪問するなどボランティア活動にも励み、多くの人たちと関わり刺激を受け奉仕の精神を育んでさらなる成長に活かしています。「自利利他」この言葉を心に置いて、自分自身を大切にしながら、不安や悩みを抱える人たちの心の支えに少しでもなれるような仕事に就きたいと思っています。

「自利利他」: 自利とは、自己の修行により得た功德を自分だけが受け取ることをいい、利他とは、自己の利益のためだけでなく他の人々の救済のために尽くすことをいいます。

長谷川 志乃さん
 仏教学科 3年
 目白研心高等学校 出身

